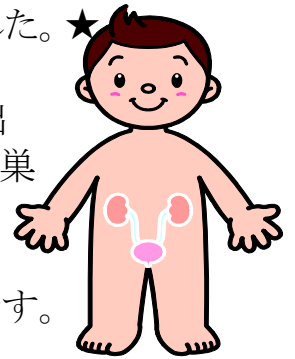


★現在、第2・第4土曜日に泌尿器科の診療を行っている小田代昌幸先生が、本年4月より常勤医師に就任し、泌尿器科を開設する予定です。皆様のご利用を宜しくお願いいたします。つきましては、この新春号は泌尿器系の病気や検査の特集を掲載しました。★

1. 泌尿器科ってどんなところ？

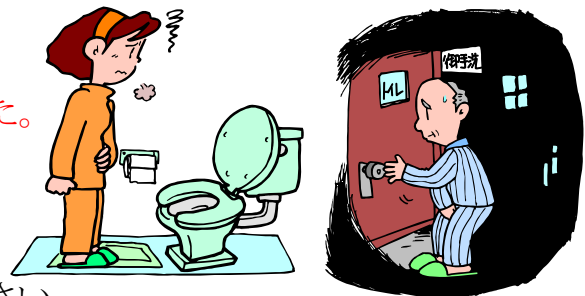
血液中のいらなくなったもの(老廃物)を濾し取って、それを尿として排出する臓器(腎臓・尿管・膀胱・尿道)とその周辺臓器や、陰茎・前立腺・精巣など男性特有の臓器も扱う診療科です。



2. 尿は体の大事なサイン

尿はただの老廃物ではなく、体の異変を知らせてくれる重要な情報源です。こんな症状が出たら泌尿器科受診をお勧めします。

- ①尿が出にくい⇒排尿障害・尿が全く出ない完全閉尿と少し出る不完全閉尿に大別します。1日400ml以下を乏尿、100ml以下を無尿といいます。
- ②排尿したのに残っている感じ⇒残尿感・膀胱刺激症状の一種で、排尿後の不快感のことを言います。実際に残尿があることは少ないです。
- ③尿が近い⇒頻尿・排尿回数の増加した状態。昼夜間、昼のみ、夜間のみにかかる場合がありますが、通常、成人の排尿回数は1日4～6回で、そのうち夜間は0～1回です。
- ④尿がもれる⇒尿失禁・意識的に尿の排出をコントロールできず漏らしてしまう状態を言いますが、いろいろな種類があるため、専門医の診察が必要です。
- ⑤尿をした時、痛みがある⇒排尿痛・排尿時に尿道あるいは膀胱部に灼熱感、疼痛を伴う状態を言います。下部尿路の炎症性疾患特有の症状で、頻尿などの他の排尿症状を合併する場合があります。
- ⑥尿の色が赤い⇒血尿・軽いものでは膀胱炎がありますが、尿路結石、膀胱、尿管、腎盂腫瘍でも血尿がでる場合があります。
- ⑦検診で尿潜血反応が出た。
- ⑧検診の超音波検査で専門科受診を勧められた。
- ⑨検診で前立腺の精密検査を指示された。



3. 男性だけの病気

1) 前立腺肥大

50歳以上になり排尿障害が表れたらご相談ください。

薬物療法、手術療法(経尿道的前立腺切除術など)が主な治療法ですが、中間的な治療として、前立腺高温度治療(前立腺尿道ステント留置など)があります。

2) 前立腺癌

最近急増している病気です。前立腺腫瘍マーカー(PSA血液検査)で早期発見できる癌なので、50歳以上の方は、一度検査を受けられることをお勧めします。(確定診断には組織検査が必要)治療には手術、放射線療法、ホルモン療法があります。

3) 前立腺炎

急性の場合は発熱、排尿困難、排尿痛を伴います。抗菌薬の点滴静注や内服で治療します。慢性の場合は会陰部不快感や悪い症状が続き、治療に時間を要する場合があります。

4) 急性尿道炎

淋菌やクラミジア、雑菌などにより炎症を起こす病気ですが、抗菌薬の内服で治療します。内服で効果の無い淋菌には、抗菌薬の点滴静注1回で治療します。